

校長あいさつ

さいたま市立大宮西小学校

校 長 伊 澤 昌 二

～学校教育目標～

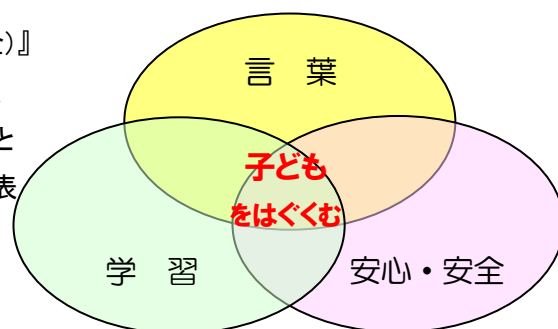
明るく元気な子 なかよくする子 かんがえる子 つたえあう子

《目指す学校像》

自分と共に他の人を大切にする学校（自他共愛）

令和5年度が始まりました。ここ3年余りは新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学校生活も大きな変化、制限を強いられてきました。新型コロナウイルス感染症の影響がゼロになった訳ではありませんが、学校生活の充実に向けて、昨年度よりも授業・学校行事等を進めていきたいと考えております。開校54年目となる大宮西小学校の歴史と伝統を引き継ぎ、保護者や地域の皆様から信頼される学校づくりを進めてまいります。

今年度の重点目標を『3つの環境（言葉、学習、安心・安全）』が子どもをはぐくむ』としました。3つの環境を整えることで、VUCAの時代を生きる子どもたちが持続可能な社会の創り手となり、主体性、リーダーシップ、想像力、課題発見・解決力、表現力等を身に付けることができると考えます。



（１）「言葉」の環境を整える

①言葉遣いが心をつなぐ・心をはぐくむ

- ・大人（教職員・保護者等）の適切な言葉遣いが、児童の見本となることを意識し、児童の言葉遣いの向上・改善を図る。（家庭・地域との連携）
- ・大人対子ども、教師対児童ではなく、一人の人間として接することを大切にできる教職員。

②「挨拶」ができる学校へ

- ・「挨拶」は、会話のきっかけを作り、気持ちを伝えるのに有効な言葉である。
- ・自分の気持ちが伝えられる児童の育成に努める。
- ・礼儀正しい児童の育成につなげる。

③児童の発言、教師の発問の質の向上

- ・普段からの会話、授業中の児童と児童、教師と児童の会話を大切にする。

（２）「学習」の環境を整える

①「分かる」環境の提供

- ・コーチングの視点を導入した授業（児童が主体的に学ぶ授業）の構築
- ・タブレット端末を活用した授業実践
- ・スタディサプリ等を活用した個別最適な学習の推進
- ・教科担任制の充実（高学年）

- ・「書く力」「伝える力」の向上を目指した授業実践
- ・体力向上（体育授業や休み時間の取組）
- ②「できる」環境の提供
 - ・児童が「分かる」「できる」が実感できる環境の提供（学習履歴確認週間・学習相談室等）
 - ・家庭学習の充実（家庭との連携）
 - ・地域の環境、人材の活用（質の高い実感できる教育の提供）
- ③教員の資質向上
 - ・校長による授業参観の実施（OJTの1つとして）
 - ・授業研究会の実施
 - ・「教師が互いの授業を見合い、議論する」職員室文化の醸成
 - ・学年内交換授業等の実践
- ④「潤い自然園」の活用
 - ・SDGsを意識した学校の取組の体系化
 - ・「潤い自然園」の活用（生活・理科・総合的な時間等との教科横断型教育の推進：STEAMS教育の推進）
 - ・環境整備の推進（学校・保護者・地域との連携）

（３）「安心・安全」の環境を整える

- ①生徒指導・教育相談体制の充実
 - ・教職員のカウンセリングマインドの向上
 - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、その他専門機関との連携
- ②交通安全、生活安全（防犯）、災害安全（防災）の各教育の推進【自分の命は自分で守る】
 - ・保護者・地域との連携
 - ・警察、区役所等との連携
- ③保護者・地域住民への積極的な学校情報の発信
 - ・Webページ、便り等
- ④いのちの支え合いの授業の実施
- ⑤食物アレルギー対応の徹底、食育の推進
- ⑥美しい教育環境づくり
 - ・清掃活動の充実
 - ・子どもの作品を大切にする掲示
 - ・飼育・栽培活動の工夫
- ⑦感染症予防の徹底

私たちは、子どもたちがこれからの時代を心豊かにたくましく生きていく力を育成するために、共に連携・協力し、子どもを育てる「共育」をしていきたいと思っております。その時に、「自分のことを大切にし、他人（友だちや周りの人たち）のことも同じように大切にする」という本校が掲げる「自他共愛」の心を大切にする教育について、教職員一同力を合わせて行なってまいります。

今年度も保護者の皆様、地域の皆様のあたたかなご理解とご支援をよろしくお願いいたします。